

北海道大学病院で研究にご参加いただいた健常者ボランティアの方へ （臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、健常者ボランティアの方の研究用に保管された検体および情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] IL-6 アンプを介した病態発症機構に関する研究

[研究代表機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 渥美 達也

[研究代表者名・所属] 今野 哲・北海道大学病院呼吸器内科・教授

[共同研究機関名・研究責任者名・機関の長の氏名]

江別市立病院 病院事業管理者・長谷部 直幸

新潟大学脳研究所システム脳病態学分野・田井中 一貴・小野寺 理

量子生命科学研究所量子免疫学グループ・田中 勇希・馬場 嘉信

東京大学医学部附属病院アレルギーリウマチ内科・藤尾 圭志・瀬戸 泰之

東京医科歯科大学計算システム生物学・島村 徹平・田中 雄二郎

実験動物中央研究所実験動物基礎研究部・高橋 武司・野村 龍太

生理学研究所分子神経免疫研究部門・長谷部 理絵・鍋倉 淳一

名古屋大学医学系研究科精神疾患病態解明学・尾崎 紀夫・木村 宏

大阪大学産業科学研究所バイオテクノロジー研究分野・谷口 正輝・関野 徹

理化学研究所無細胞タンパク質合成研究チーム・清水 義宏・西田 英介

[外部委託機関]

東京医科歯科大学 難治疾患研究所 バイオリソース支援室・高岡 美帆・田中 雄二郎

かずさDNA研究所遺伝子構造解析グループ・長谷川 嘉則・大石 道夫

アゼンタ株式会社・原田 暁美・原田 暁美

[研究の目的]

健常人検体を炎症が関わる様々な疾患患者の検体と比較して炎症病態を詳しく調べ、疾患治療法の向上に役立てることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる方

北海道大学病院呼吸器内科および北海道大学遺伝子制御研究所分子神経免疫学分野において、**2021年4月1日から2029年3月31日までの間に下記いずれかの研究に参加し、研究目的で試料を保管した健常者の方**

- ・「関節リウマチおよび全身性エリテマトーデスにおける遺伝子発現および炎症増幅回路活性化因子の解析」（自 018-0388）
- ・「皮膚疾患における IL-6 アンブを介した病態発症機構に関する研究」（自 019-0278）
- ・「中枢神経系疾患における IL-6 アンブを介した病態発症機構に関する研究」（自 020-0393）
- ・「呼吸器疾患の早期診断に関する多面的検討」（生 022-0282/指 023-0032）

○利用する検体・情報

- ①検体：血液検体、尿検体、核酸検体
- ②対象者基本情報：年齢、性別
- ③医療情報：既往歴、家族歴、低周波刺激装置の使用歴、ワクチンの接種歴

○送付方法

上記の情報および検体は、病態重症度との相関性を解析するために新潟大学、東京大学、東京医科歯科大学、大阪大学、名古屋大学、生理学研究所、量子生命科学研究所、理化学研究所、実験動物中央研究所、かずさ DNA 研究所、アゼンタ株式会社に電子的配信もしくは宅配にて送付します。

[研究実施期間]

実施許可日(検体・情報の利用開始：2023年8月頃)～2030年3月31日
 (登録締切日：2029年3月31日)

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の健常者ボランティアの方々の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する健常者ボランティアさんの情報に関しては、お名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院（研究代表機関）の連絡先・相談窓口]

札幌市北区北 14 条西 5 丁目 教授 今野 哲
 北海道大学病院呼吸器内科
 電話番号：011-706-5911

[当機関（共同研究機関）の連絡先・相談窓口]

住所：

機関名：

電話：

担当者：

FAX：